

令和5年度 日本体育大学卒業式 訓辞

本日ここに学士の学位を取得し、卒業される皆さん、おめでとうございます。また、これまで皆さんを励まし、応援し、支えてくださった保護者ならびにご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。これまでの本学の教育活動へのご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。

日本体育大学の教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。そして本日、すべての卒業生が一堂に会して、卒業式を挙行できますことを心から、うれしく思います。

さて、皆さんの大学生活は、その始まりから新型コロナウイルス感染症に翻弄されるものでした。緊急事態宣言が出された中での大学生活の始まりは、皆さんを含め、日本社会全体が大きな不安で包まれていました。入学式も中止になり、また、授業もすべてがオンラインやオンデマンドといったメディア授業となりました。大学生活を実感することができない日々が続きました。「不要不急」という言葉が飛び交い、マスクに覆われた顔は笑顔であっても認識することのできない日常が続きました。こうした中で、少しでも学生の皆さんに安心してもらえるように、日本国内の大学のトップバッターとして学内においてワクチン接種を実施したり、日体大らしい授業を提供するために隔週での実技の授業を対面で受講してもらうなど、皆さんの健康を守りながら、日体大に入学してよかったと思えるような環境を提供できるように努力してまいりました。

ご存じの通り、日本体育大学は身体を通して、特に体育スポーツを通して、学問を学び、社会性を身に付け、さらに人としての生き方を学ぶことで、人間力を高めていくことを歴史的に志向してきた大学であるわけですから、感染症の拡大は、まさに教育の根幹を揺るがす大きな出来事でもあったわけです。しかし、このコロナ禍を経験することで、改めて、人と人とが直接対面し、コミュニケーションをとることの重要性や、みんなで協働して何かを成し遂げることのすばらしさを再確認することができました。また、コロナを通して社会そのものが大きく変化した部分もありました。大学教育では、オンラインやオンデマンドによる授業が当たり前となり、大学にいなくても一定数の授業がメディアを使うことで受講できるようにもなりました。大学教育も、このコロナを契機として、いまの時代を直視し、変化するようになりましたし、新たな教育の在り方が求められることにもなりました。

さて、こうしたコロナ禍での記憶も今では過去のものとなりつつあります。しかし、このような難局に立ち向かって行った皆さんの経験は、間違いなく、今後の人生において意味あるものとなるはずです。なぜなら、皆さんが卒業後に旅立つ社会は、不確実で複雑、また不透明で曖昧な、さらに予測困難な社会であると言われているからです。ブーカの時代だと表現されています。ブーカという言葉は、軍事用語に由来し、戦局の見通しが難しい状況を表す用語だったようです。これからの時代もこれと同じように、予測が困難な時代になると考えられています。例えば、生成AIなどのテクノロジーの急速な進歩、気候変動による

災害の増大、人口動態の変化による社会構造の本質的な組み換え、コロナに代表されるような未知の事態の発生など、これまでの歴史的な経験知からでは、想像できない出来事が到来すると予測されているからです。元旦に発生した能登半島地震も、こうした予見できない出来事でもありました。被害にあわれた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

また、このような自然災害とは別に、一方では突然に起こったイスラエルとハマスの戦闘や未だ行き先が見通せないウクライナ戦争、3年目を迎えたミャンマーの軍事クーデターなど、不安定な社会情勢が続いており、こちらも予測は困難な状況にあります。

こうした予測困難な社会を乗り越えていくための確実な方法は、いまだわかっていませんが、従来のように、問題を把握して、その問題の解決に対応するだけでは困難を乗り越えることは極めて難しい状況にあります。それよりも、これから少し先の未来を思い描いて、そのために現在の状況をどのように改変していくのか、という考え方の方が、行動の修正も早く、また、目的意識が明確になるのだと思います。今の時代、安定を求めようとすると、それは衰退につながっていきます。皆さんには、社会を見据えつつ、目標を定めて、変化し続けていくことを望んでいます。

皆さんにとって、追い風となるかもしれないと予想されることがあります。これからの社会は地球規模で見れば、人口増加は続きますが、日本国内においては人口減少が進み、少子高齢化は加速化します。このような時代にあって社会をより安定的に持続可能にしていくための条件の一つが、「健康寿命の延伸」であり、ここに近未来の大きな鍵があると考えられています。人間は身体が資本であり、この資本を抜きに科学技術の発達も経済の活性化も望めないからです。ましてや予測困難な社会においては、なおさら己の肉体は重要になってきます。そうした意味では、本学で学んできた知識と技術を身に付けた皆さんは、間違いなくこれからの社会を様々な形で牽引する人材となるはずです。

自信を持って社会に旅立って行ってください。どんなに社会が変わっても、自分の人生を前向きに切り開いていくのは皆さん自身であり、皆さんにはその力が備わっているはずです。授業、実習、学友会活動、研究活動、ボランティア、アルバイトなど、多様な活動を通じて皆さんは前を向いていく力を身に付けているはずです。本学での学びと経験を生かし、様々な人と繋がり、課題に立ち向かって行って下さい。日体大の卒業生としての誇りをもって、実社会で活躍して行って下さい。人生 100 年時代の中で、苦しい時も悩む時もあると思います。しかし、きっと素晴らしい未来が皆さんには待っているはずです。前進なくして変化は起こりえない、ということを心に刻んでおいていただきたいと思います。

最後に、卒業生の皆さんの今後の大いなる活躍と、なお一層の発展を祈念し、学長としての訓辞といたします。本日はおめでとうございます。

令和 6 年 3 月 15 日

日本体育大学 学長 石井隆憲